

令和4年度版

岡山市 就農サポートガイドブック

晴れの国で農業人になろう



岡山市就農サポートセンター

このガイドブックをご覧の皆さまへ

「農業をしてみたい」、このガイドブックを手にとってくださった多くの方が、そんな思いをお持ちのことと思います。

農業をやりたいと思ったとき、多くの方が戸惑われることが、「何から始めていいのかわからない」、ということです。

このガイドブックは、そんな皆さまに、農業を始めるために知っておいていただきたいことや、岡山市で行っている研修や支援策などの役立つ情報をまとめたものです。

ガイドブックを見て、さらに興味がわいてきたら、ぜひ岡山市就農サポートセンターにご相談ください。皆さまの興味や生活の状況などをお聞きしながら、おひとりおひとりがご自身に適した形で就農できるよう、サポートいたします。

農業を始めようとされる皆さまが岡山市で農業を始めるための最初の一步を踏み出すために、このガイドブックが少しでも役立てば光栄です。

目 次

I. 就農への道しるべ	1
II. 就農に関する岡山市の支援制度	3
III. 岡山市の農業	
農林水産業マップ	7
岡山市の主要作物	8
岡山市の農業の地位・主要作物全国順位	10
IV. 経営指標	11
V. 岡山市って、どんなまち？	13



I. 就農への道しるべ

Step1 情報収集や体験をしましょう

農業に興味を持たれるきっかけは人それぞれ。インターネットや情報誌を見たり、知人から話を聞くといったことも情報収集には有効ですが、その地域での農業を知るには、地域に身近なところで話を聞いたり、実際に地域の中に入ってみるのが一番です。

岡山市で農業をすることに興味を持たれたら、まず「岡山市就農サポートセンター」にご連絡ください。「岡山市就農サポートセンター」では、総合コーディネーター（相談員）が、農産物の産地や農業経営に関する現地情報を提供したり、研修や支援制度を紹介するなど、地域に身近な市ならではの立場で就農に向けた各種相談に応じます。

研修などを活用し、農業や就農しようとする地域の雰囲気や体験して、自分がどの地域で暮らし、どんな作物を栽培するのが向いているのか、十分に検討してみましょう。

☑ チェックポイント

- 家庭菜園で栽培するのではなく、経営者として農業を営むイメージができていますか？
- 年間通した農作業を体験するなどした上で、ご自身の体力や持久力で農業を営んでいける自信がわいていますか？
- 自然災害や農作物価格の上昇下落などの農業のリスクに柔軟に対応できそうですか？
- 田舎と都会の暮らしの生活面の違いに対応できますか？
- 農地や水利の管理、鳥獣対策など、農業経営は、実は一人で農作業をするだけでなく、地域で協力し合う必要があることも多く、日常生活の中でも地域の人たちとよくコミュニケーションを取り、地域にとけ込むことが重要です。地域の一員として活躍していく意気込みは十分ですか？

Step2 やりたい農業のイメージを具体化しましょう

農業には、水稲、野菜、果樹、花きなど様々な作物があり、作目によって、収益、初期投資額、労働力、産地などが異なります。どの作物をどの地域で、どんな栽培方法で行うかなどを具体的に考えていきましょう。

☑ チェックポイント

- どの作物を栽培するか、決めていますか？
- 一つの作物にしぼって栽培するか、複数の作物を栽培するかなど、経営スタイルはどちらがご自身に向いていますか？それぞれの経営スタイルのリスクは考慮しましたか？
- 露地栽培か施設栽培か、普通栽培か有機栽培かなど、地域の特性を踏まえて栽培の方針を決めていますか？

Step3 就農候補地を調べましょう

作物には、その作物に適した気象条件や土壌条件（適地適作）などがあり、就農する地域を選ぶための重要な要因になります。また、生活条件も考慮する必要があり、就農候補地の生活環境を調べたり、家族と一緒に訪問したりしておくことも大切です。

☑ チェックポイント

- 就農候補地は、栽培希望作物の適地ですか？
- 移住を伴う場合は、就農候補地の生活環境を調べた上で、家族の理解を得られていますか？

I. 就農への道しるべ

Step4 営農や生活にかかる資金計画を立てましょう

あなたが目指す将来の農業経営の姿や生活のイメージを具体的にし、経営の計画を立てましょう。

また、農業を始めるには、農地の借入や購入、農機具の購入などの設備資金だけでなく、肥料や農薬などの購入費用や、作物を収穫してから収入を得るまでの生活費用も必要です。農業経営の初期段階で必要となる費用の試算をしましょう。

☑ チェックポイント

- どの程度の面積で経営しますか？
- 生産物の売り上げはどの程度見込めますか？
- 農機具や農業用施設の建設に必要な設備資金に加え、肥料、農薬、光熱水費や修繕費などの運転資金も試算しましたか？
- 住居の確保や生活にかかる費用の備えは十分ですか？

Step5 資金計画をもとに準備していきましょう

就農に必要な経費すべてを自己資金で賄うことができればベストですが、不足する分は公的な融資制度を活用して調達するのも一つの方法です。資金を借りる場合は、担保や保証人等、借入の要件を確認しておきましょう。

☑ チェックポイント

- あなたの目指す農業経営を実現するのに十分な自己資金はありますか？
- 自己資金で足りず融資制度を利用する場合、返済の見通しの立つ経営構想になっていますか？
- 農業経営を開始した直後の生産量や売上額の見通しに甘さはありませんか？

Step6 基礎知識や技術を習得しましょう

農業経営を行うためには、栽培技術や農業に関する様々な知識を習得しておく必要があります。経営の柱となる作物については、研修制度を活用するなどして、“種まきから収穫まで”1サイクル以上の栽培を、実際に経験してみましょう。

岡山市は、新規就農を希望する方のニーズに応じられるよう、各種研修制度を設けており、岡山市就農サポートセンターで、研修後の就農を見据えて、おひとりおひとりに最適な研修を紹介します。

Step7 農地や農業用機械・施設、住居を確保しましょう

農業をするには、農地や農業用機械・施設、そして住居を確保する必要があります。

- ① 農地：農地の取得については、購入、借入いずれの場合も農業委員会の許可などが必要です。岡山市では、研修制度を活用し、研修を受講された方が地域の中で信頼関係を構築し、スムーズに農地を確保することができるよう後押しをしています。
- ② 農業用機械・施設：現代の農業は、施設化・機械化が進んでおり、効率化した一方、これらをそろえるには、多額の資金が必要となります。岡山市就農サポートセンターで、耕作しなくなった農地や使用しなくなった農業用機械、施設などの物件の情報を募集し、就農される方に適した物件があれば、中古物件を活用いただけるようにしています。
- ③ 住居：農作物の栽培は、自然条件に大きく左右されます。就農される方が適切な栽培管理を行うために、農地の近くに住居を確保できるよう、関係部署と連携して、移住定住を促進しています。

Ⅱ. 就農に関する岡山市の支援制度

(1) 研修制度

農業を始めるために、まず身につけておかなければならない栽培技術。

自家菜園とは異なる、農業経営を前提とした規模と効率での技術の習得に、熟練の農業者の方からの技術の伝授はとても効果的。岡山市の研修では、市の農業を支える優良な農業者の方からの直接指導を受けていただけます。

農業者の方と直接ふれあひながら学べる研修は、栽培技術の習得のみならず、技術を伝える側、受け取る側、相互の信頼関係を築ききっかけになります。地域の人との信頼関係は、その地域で就農し、農業経営を順調に発展させていく上で、皆さまを支える大切な財産となるはずで。

岡山市では、農業の入門的な研修から、農業経営を見据えた実践的な研修まで、多様なメニューをご提供。研修を、単なる技術習得の場ではなく、就農に向けた重要なステップとして位置づけ、その後の経営につなげられる連続性のある研修を展開しています。

新規就農希望者体験研修事業

岡山市オリジナルの研修です。優れた経営を行っておられる農業者の方から、直接指導を受けて農作業を体験したり、近年就農された方の経験談を直に聞いたりすることができます。農作業を体験いただく研修は、3つのコースを設定。ご自身のニーズやスケジュールに合わせて受講いただけます。

対 象		岡山市内での就農を希望しておられる 65 歳以下の方
農業インターンシップ研修	概 要	実地での農業体験の機会を提供する研修。次の3コースを設定しています。 ① ワンデイ・トライアルコース（1日） 農業に興味と不安をお持ちの方向けの入門的な研修 ② セレクト体験コース（10日以内） 体験したい作目の農作業の時期・期間・作業を選択しての研修 ③ 1サイクル体験コース（15日以内） 実践的研修や実際の就農に向けて、就農希望作目の主な農作業1サイクルを体験する研修
	期 間	年間1～15日
新規就農者インタビュー研修	概 要	就農から6～10年程度経過した方の経験談を、対談形式でお聴きいただく研修。
	期 間	1日（2時間程度）



II. 就農に関する岡山市の支援制度

就農促進トータルサポート事業

岡山県や岡山市、農業関係団体等が協同で実施する研修制度です。「農業体験研修」の受講後、認められれば、より実践的な「農業実務研修」を受講いただくことが可能です。

農業体験研修	概要	就農を希望される地域で優れた経営を行っている農業者のもとで、1ヵ月程度、農作業や農村生活を体験し、地域や作物、農業について学ぶ研修。
	対象	岡山市内での就農を希望しておられる 55歳未満の方 (農家出身の場合は、就農予定時の年齢が50歳未満の方)
	研修費	研修修了後 5万円 ※公益財団法人岡山県農林漁業担い手育成財団から支給。
	期間	1ヵ月程度
	備考	研修生の募集は公募制で、原則年2回。 研修生を募集する地域や作物など、詳しくはお問い合わせください。
農業実務研修	概要	農業体験研修後、独立・自営就農に向けた準備を進めるための実践的研修。 栽培技術や農業経営のノウハウを習得するだけでなく、地域にとけ込む機会となり、スムーズな農業経営の開始につなげていただけます。
	対象	農業体験研修を修了された方
	研修費	年間最大 150万円 ※就農予定時の年齢が50歳未満である場合は、予算の範囲内で、国の新規就農者育成総合対策事業・就農準備資金として交付。
	期間	2年以内

※上記以外の研修受講要件については、岡山市就農サポートセンターにお尋ねください。

※研修の実施は、面接等による審査を行い、決定します。

※予算状況等により研修生の募集が行われなかったことがあります。



II. 就農に関する岡山市の支援制度

(2) 就農支援制度

機械や施設、資材などの初期投資や、経営が安定するまでの資金繰りは、農業を始めるときに、大きな負担になるものです。岡山市では、国の支援制度の活用や、市独自策であるUIJターン園芸農業者支援事業補助金の交付によって、皆さまの経営の安定化を後押しします。

新規就農者育成総合対策事業(経営発展支援事業、経営開始資金)

概要	<p>①経営発展支援事業 次世代を担う農業者となることについての強い意欲を有している独立・自営就農者に対し、就農後の経営発展のために必要な機械・施設の導入にかかる事業費の4分の3以内の額を交付するもの。(補助対象事業費上限額は1,000万円(②も交付の場合は500万円))</p> <p>②経営開始資金 次世代を担う農業者となることについての強い意欲を有している独立・自営就農者に対し、就農直後の経営確立の支援のため、1月につき1人あたり12.5万円(年150万円)の経営開始資金を最長3年間交付するもの。</p>
対象	<p>○ 次に掲げる要件を満たす独立・自営就農をすること。(①、②)</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 青年等就農計画の認定を受けた認定新規就農者(就農時の年齢が原則50歳未満)であること。 イ 農地の所有権又は利用権を有していること。 ウ 主要な農業機械・施設を所有又は借りていること。 エ 生産物や生産資材等を交付対象者の名義で出荷・取引すること。 オ 売上や経費の支出などの経営収支を交付対象者名義の通帳及び帳簿で管理すること。 カ 交付対象者が農業経営に関する主宰権を有していること。 <p>○ 実質化された人・農地プランに中心となる経営体として位置づけられ、若しくは位置付けられることが確実と見込まれること、又は農地中間管理機構から農地を借り受けていること。(①、②)</p> <p>○ 機械・施設の取得費用等について、金融機関から融資を受けること。(①)</p> <p>※ 資金の交付にはこの他にも要件があります。詳細はお尋ねください。</p>

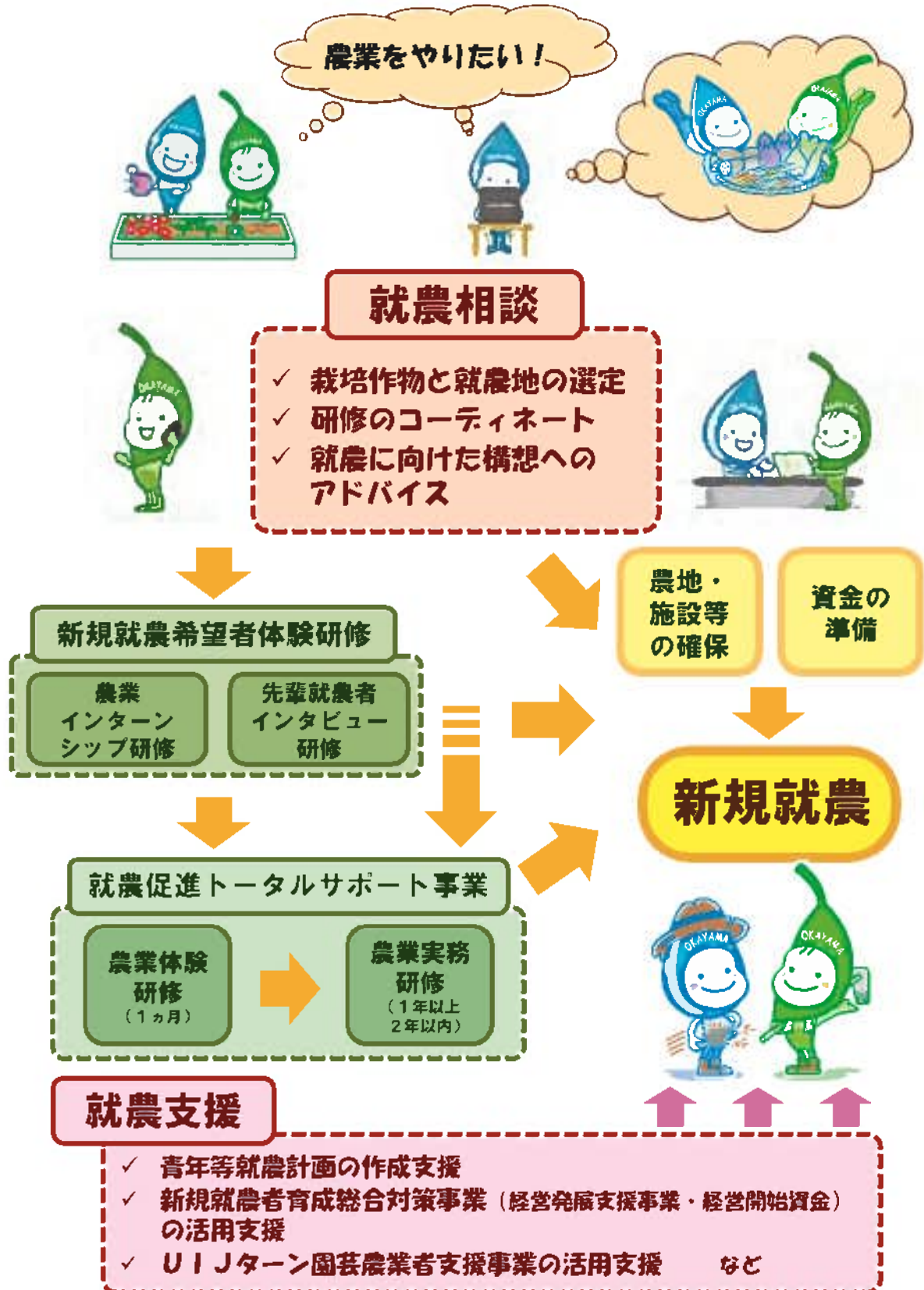
UIJターン園芸農業者支援事業

概要	<p>UIJターンにより岡山市に移住し、園芸農業(果樹、野菜、花き)を始める方に対して、農業機械の購入費等の就農初期投資費用の負担を補助します。</p>
対象	<p>以下のすべての要件を満たしておられる方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県外から岡山市に移住した18歳以上の方。 ○ 既に農地の権利を取得しているか、移住日から3年以内に農地の権利を取得した方。 ○ 一定の農業技術を習得しておられる方(トータルサポート事業実務研修修了者など)。 ○ 農業次世代人材投資資金、農の雇用事業による助成金、または経営継承・発展支援事業補助金の交付歴がなく、年度内にこれらの資金等の交付を受けない方。
補助対象経費	<p>農業用機械、施設、資材、永年性作物の種苗購入費 (軽トラック等の汎用性が高いもの及び1年以上の継続使用できない資材は補助対象外)</p>
補助金額	<p>補助対象経費の合計額×1/2(1000円未満の端数は切り捨て) (補助金上限100万円。経営農地の過半を親族から権利取得している場合は上限50万円)</p>

※上記の2事業とも予算の範囲内での対応となります。交付を希望される方は、あらかじめご相談ください。

II. 就農に関する岡山市の支援制度

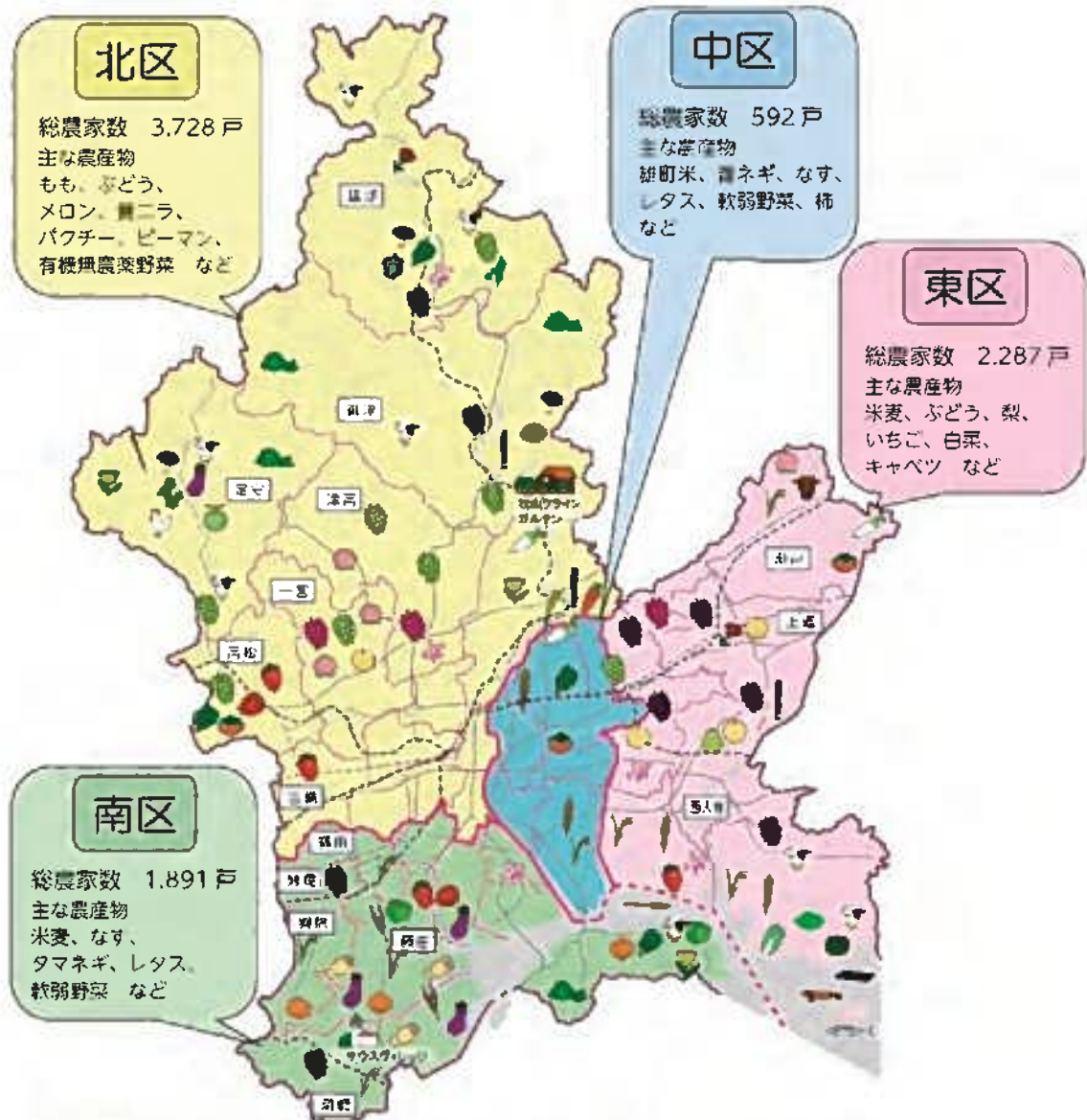
新規就農までのイメージ図



Ⅲ. 岡山市の農業

岡山市では、南部の干拓地、中部の丘陵地、北部の吉備高原など、様々な地形と自然条件のもと、水稲、麦類をはじめ、白桃、マスカット、ピオーネなどの果樹栽培、なす、レタス、黄二郎などの野菜栽培、切花などの花き栽培、乳用牛、採卵鶏などの畜産業といった多彩な農業が営まれています。全国的なトップブランドとして名を馳せるものも多くあります。

岡山市の農林水産業マップ



資料 総農家数：2020年農林業センサス



Ⅲ. 岡山市の農業

果樹



もも(白桃)

気品を漂わせる上品な白さが特徴。外観を傷つけずに光糖度センサーで選別が行われています。



ピオーネ

大粒で甘いぶどう。種なしはニューピオーネと呼ばれています。5月から11月に出荷されています。



マスカット・オブ・アレキサンドリア

味・香り・外観の美しさを兼ね備え、「果物の女王」と呼ばれています。5月から10月に出荷されています。



紫苑(しえん)

大粒で種がなく、高糖度のぶどう。10月中旬から12月上旬に出荷されています。



シャインマスカット

高糖度で種がなく、マスカット香りがあるぶどう。皮ごと食べられます。4月から10月に出荷されています。



瀬戸ジャイアンツ

マスカットの系列品種で、糖度が高く皮ごと食べられます。6月から10月に出荷されています。



米

市内全域で栽培されています。主な品種に、朝日・アケボノ・ヒノヒカリ・雄町などがあります。



二条大麦

主に東区西大寺地区が産地で、「ふくほのか」という品種が主流で生産されています。



小麦

ビールの原料となる麦。市南部の藤田・興除・瀬崎地区で主に生産され、生産量、作付面積は全国3位(令和2年)を誇ります。

米・麦

Ⅲ. 岡山市の農業

野菜



なす

全国ブランドである「備南の千両なす」は、全国有数の品質を誇ります。



黄ニラ

日光を遮って栽培されるため、柔らかい食感と甘みがあり、ほんのりと気品のある香りと優しい黄色が特徴。



いちご

立ったままで栽培が可能な「はればれブランド」と呼ばれる高設栽培施設が導入されており、生産性が向上しています。



温室メロン

マスカット栽培用の温室を活用して栽培が行われています。品種は「アールスメロン」が主で香りのよさが特徴。



レタス

優れた栽培技術で高い市場評価を受けています。南区藤田地区のレタスは高品質ブランドです。



タマネギ

藤田地区のたまねぎは高い市場評価を受けており、水田の高度利用作物として栽培面積が拡大しています。



おかやま有機無農薬野菜

農薬や化学肥料を一切使用しない「おかやま有機無農薬農産物」に認定された「安全・安心・高品質」の野菜。北区高松地域では、桃太郎トマトをはじめホウレンソウやダイコン、なすなど、多彩な野菜が栽培されています。



洋蘭

デンドロビウム、シンビジウム、コチヨウラン、カトレアなど様々な種類が岡山市内で栽培されています。



フルクラム

フラワーアレンジメントや花束の添え花として使われる草花で、淡い黄色の小花が咲きます。足守地区でメロン栽培の間作として栽培されています。

花き

Ⅲ. 岡山市の農業

岡山市の農業の地位（資料：「2020年農林業センサス」）（単位：ha、戸）

順位	経営耕地面積（田）	面積	順位	農家戸数（総農家）	戸数
1	新潟県 新潟市	28,300	1	静岡県 浜松市	10,042
2	秋田県 大仙市	18,200	2	長野県 長野市	9,902
3	宮城県 泉州市	17,000	3	新潟県 新潟市	9,675
：	：	：	4	岩手県 一関市	8,996
15	岡山県 岡山市	11,800	5	岡山県 岡山市	8,498

農産物の作付・栽培面積（資料：「2020年農林業センサス」）（単位：ha）

順位	大麦	面積	順位	水稲	面積
1	佐賀県 佐賀市	4,912	1	新潟県 新潟市	22,893
2	栃木県 栃木市	2,103	2	秋田県 横手市	13,282
3	岡山県 岡山市	2,012	3	秋田県 大仙市	12,555
4	福井県 坂井市	1,346	：	：	：
5	栃木県 小山市	1,302	18	岡山県 岡山市	6,717

順位	もも	面積	順位	ぶどう	面積
1	山梨県 笛吹市	1,186	1	山梨県 笛吹市	836
2	福島県 福島市	595	2	山梨県 甲州市	800
3	山梨県 山梨市	401	3	山梨県 山梨市	580
：	：	：	：	：	：
12	岡山県 岡山市	123	20	岡山県 岡山市	117



IV. 経営指標

岡山市の代表的作物の経営指標（目安）

（10a当たり）

作物	もも	ぶどう	ぶどう	いちご	水稲	
作物型	清水白桃	シャイン マスカット (無加温)	ピオーネ (簡易被覆)	促成 (はればれ フロント)	機械移植 (稚、中苗) (規模 30ha)	
収量 (kg)	2,200	2,100	1,800	5,500	520	
単価 (円)	1,080	2,425	890	1,284	248	
粗収入 (円)	2,376,000	5,092,500	1,602,000	7,062,000	128,960	
経費 (円)	直接経費	983,933	1,061,212	523,725	2,656,950	51,972
	減価償却費	236,174	871,290	354,087	1,933,288	25,211
	修繕費	39,692	105,227	43,783	322,402	6,649
	合計	1,259,799	2,037,729	921,595	4,912,640	83,832
所得 (円)	1,116,201	3,054,771	680,405	2,149,360	45,128	
所得率 (%)	47.0	60.0	42.5	30.4	35.0	
労働時間	1月	15.0	47.0	0.0	145.0	0.0
	2月	0.0	3.0	16.0	155.0	0.0
	3月	26.0	29.0	15.0	171.0	0.0
	4月	17.0	82.0	16.0	163.0	0.0
	5月	30.0	131.0	52.0	198.0	2.5
	6月	79.0	63.0	70.0	177.0	4.8
	7月	88.0	23.0	44.0	4.0	0.7
	8月	8.0	95.0	10.0	34.0	0.9
	9月	11.0	4.0	86.0	79.0	0.9
	10月	20.0	25.0	27.0	84.0	2.4
	11月	5.0	1.0	2.0	12.0	0.5
	12月	21.0	7.0	6.0	152.0	0.0
	合計	320.0	510.0	344.0	1374.0	12.7

※令和2年度岡山県農業経営指導指標より抜粋

- 上記の数値は優秀な経営を行っている農家が、条件の良い農地で農業経営を行った場合の目標・理想値です。新規就農当初は、労働時間は2～3割増、農業所得は3～5割減になりうることも想定してご覧ください。

IV. 経営指標

主な農業施設や機械の価格と耐用年数（目安）

施設・機械名	規模・規格	構造	価格 (万円)	耐用年数 (年)	使用する 主な品目
作業場	50 m	鉄骨造	330	24	汎用
果樹棚	1,000 m	コンクリート、鉄線	99	14	ぶどう等
灌水施設	1,000 m	パイプ	34	8	
簡易被覆施設	1,000 m	トンネルメッシュ	73	10	いちご等
パイプハウス	1,000 m	鉄パイプ	559	14	
ハウス内灌水施設	1 式	エンジンポンプ	79	7	
トラクター	1 台	25ps	285	7	汎用
乗用田植機	1 台	6 条	194	7	水稲
コンバイン	1 台	4 条刈	648	7	
動力噴霧器	1 台	動力・タンク・ホース等	32~43	7	野菜・果樹等
温風暖房機	1 台	75,000kcal	127	7	野菜
冷蔵庫	1 台	3.3 m	62	7	汎用
バックホー	1/2 台	バケット0.05 m ³ 2人共同	152	8	もも、ぶどう等
軽トラック	1 台	660cc	100	4	汎用
養液土耕システム	1 式	基本部材、制御装置等	218	7	いちご、トマト等

専門用語の解説

露地栽培	温室等の設備を使わず露天の耕地（田、畑、圃場）で作物を栽培・収穫する方法。
施設栽培	ガラス室やビニールハウスなどを利用して野菜、花き、果樹などを栽培・収穫する方法。
慣行栽培	普通一般に行われている栽培方法。 生産過程において、農薬を使って病害虫等の防除を行う従来型の栽培方法。
有機無農薬栽培	有機 JAS 規格に定められた栽培方法。有機質肥料（堆肥、菜種糞、酵母等）を使用し、化学肥料や農薬を使用しない（一部使用可能なものもある）。 「おokayama有機無農薬農産物」は、有機 JAS 規格を満たした上で、化学肥料や農薬を一切使わない、独自のより厳しい規格によって岡山県が認証した農産物。
面積	1町（いっちょう）= 3,000 坪 = 1 ha = 100a = 10,000 m ² = 100m × 100m 1反（いったん）= 300 坪 = 10a = 1,000 m ² 1畝（ひとせ）= 30 坪 = 1 a = 100 m ² = 10m × 10m ※東京ドームのフィールド 13,000 m ² 両翼 100m 中堅 122m

V. 岡山市って、どんなまち？

概要

岡山市は、歴史的には、古代から吉備文化の発祥地として栄え、市西部には造山古墳をはじめとする多くの史跡が残っています。

中心部には、城下町として栄えたことを伝える岡山城や岡山後楽園などの歴史遺産と近代ビル群、郊外には閑静な田園や中山間地域が広がっており、自然と文化が調和した都市空間を形成しています。

また、瀬戸大橋、岡山空港、山陽自動車道など広域高速交通網の結節点に位置し、中四国地方の中核拠点都市となっています。平成21年4月には、全国で18番目の政令指定都市に移行しました。



自然条件



岡山市は、旭川と吉井川の2本の一級河川が瀬戸内海に注ぐ岡山平野の中央に位置し、南部は豊かな沃野、北部は吉備高原につながる山並みが広がっています。

市域の南北が中国山地と四国山地に囲まれていることで、冬の厳しい季節風や台風の勢力が弱められて降雪や強風の影響が比較的少なく、快晴の日が多い、「晴れの国」のキャッチフレーズにふさわしい、瀬戸内海特有の温暖でおだやかな風土に恵まれています。

各種データ

面積：789.95 km² (北区:450.7 km² 中区:51.24 km² 東区:160.53 km² 南区:127.48 km²)

人口：702,073人 (北区:294,216人 中区:147,363人 東区:93,171人 南区:167,323人)

※令和4年3月末住民基本台帳

年間平均気温：16.4℃ 年間降水量：1,191.5mm 年間日照時間：2,165.9時間 (観測地点：岡山)

※令和3年「岡山県の気象年報」(岡山地方気象台)

医療機関数：病院：56施設 診療所：707施設 歯科診療：453施設

学校数：保育園：103園 幼稚園：64園 幼保連携型認定こども園 48園

小学校：95校 中学校：45校 中等教育学校：2校 高等学校：26校

※令和3年「岡山市の統計」

就農に関するご相談・お問い合わせは

岡山市就農サポートセンター



電話 086-803-1347

FAX 086-803-1739



〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1番1号 岡山市農林水産課内

【E-mail】 nousui@city.okayama.lg.jp

【HP】 <https://www.city.okayama.jp/kurashi/0000016993.html>

